



今年に入って欧州からは、経済関連のニュースより、他のニュースが目立ちます。フランス大統領のプライベートな事情について、メルケル首相のスキー旅行、ソチオリンピック。しかし、メディアにはほとんど軽視されたのですが、今ドイツのリテール業界は新政権を相手に新しいロビー活動を調整しているところです。そのような事情は背景に、Euro リテール NEWS 2014 年 1 号をお届けします。テーマは、

- * トрендとして、「ポップ・アップ&コンバイン」コンセプトや業界構成のトレンド、
- * 産業・企業ニュースとして、ドイツのリテール業界の見通しと英国のリテール大手の戦略、
- * メッセ・イベント情報として、EuroShop の日本の出展者とイベントを取り上げました。ぜひ、最後までお楽しみください。

第 1 部：欧州の小売・卸売り業界のトレンド

店舗デザインに関するトレンド：「ポップ・アップ&コンバイン」コンセプト

専門メディアに取り上げられた、最新のトレンドは、リテール業界が懸命に新しいコンセプトを探していることです。競合相手のコンセプトを調査することはもちろんですが、つい最近では、他の産業のコンセプトもよく研究し、リテール業界に適用できるかどうかを真剣に検討する段階に入っています。最新の事例をあげますと、英国のスーパー・チェーン「Tesco」は、店舗の一部として、(独立した店舗に見えそうな)衣服販売コーナーを開設し、喫茶店の雰囲気を持つコーヒーショップを店内に設置しました。

また、同じくロンドンでのトレンドですが、一時的な営業の予定で「ポップ・アップ・ストア」が現れ、いくつかの生活分野のアイテムを一緒に紹介するトレンドが見られます。例えば、東京の南青山に支店を持つインテリアの「ヴィツウ」社は、ロンドンで書店とコーヒーチェーンと提携して、一時的に家具のショールームを「読書ルームカフェ」に変えると公表しました。この期間限定の提携により「リビング・ルーム」のような、店舗の雰囲気が演出できます。別の事例になりますが、ジーンズメーカー「Diesel」社は 3 か月の期間だけ「Diesel Village」と称されるポップ・アップ・ステーをロンドンのリージェント・ストリートで開き、店舗の中を温室のようにデザインしたことが話題になりました。

出典：<https://www.vitsoe.com/gb/news/620-reading-room-in-london>、
<http://www.alumind.com/article/diesel-village-opens-in-london/>





写真の出典：
<https://www.vitsoe.com/gb/news/620-reading-room-in-london>



写真の出典：
<http://www.alumind.com/article/diesel-village-opens-in-london/>

業界構成のトレンド

リテール業界に今後 10 年から 15 年間にどのような特徴が現れるのか、どのような構成に変わっていくのかという問いに対し、「Megatrend Handel」(リテールのメガトレンド)が最新の調査で回答を出しています。e コマースの増加と百貨店のマーケットシェア減少は今さら驚くべき現象ではありませんが、これまでまだ取り上げられていないテーマは 3D 印刷によるバリューチェーンの劇的な変化の可能性です。というのは、顧客が求める製品を店舗で「印刷」すなわち作成することが可能であれば、道路を使つての物流が大規模に減少すると思われまふ。それとともに環境に良い影響をもたらすと考えられます。しかし、この方法を突き詰めると、3D 印刷機械の普及程度によりますが、次のシナリオが考えられます：もし、誰も彼も 3D 印刷を持っていれば、一般の消費者でもメーカー（開発者、設計図提供者と言ひ換えまふ）から製品のスペックをダウンロードし、自宅で印刷（＝作成）することができます。そうなれば、リテールが果たす役割が劇的に縮小するに違ひないでしょう。SF 的ですが、まったく実現の可能性がないとも言えまふ。

出典：<http://www.bbwmktg.de/handelsstudien/megatrends-handel-ii-2025-2030/>、
<http://www.openpr.de/news/753202/>

第 2 部：経済・企業情報

ドイツのリテール業界：2013 年との分析と 2014 年度の見通し

ドイツ・リテール協会 HDE によりますと、昨年の小売業の売上は 1.2%増加を示しましたが、特に貢献したのはオンラインショッピングでした。e コマースの影響を受け、顧客にとっての店舗の重要性と実際の利用回数がこれからさらに減少する、と小売業の経営者の 62%はアンケートに答えました。

やや驚くべき（喜ぶべき？）結果は、書籍販売でした。通販でない、実際に店舗で販売された本・雑誌などの売上が昨年は少し増加し、今年も増加傾向が続くと予想されています。

日曜大工用品業界は昨年大手チェーンストア 2 社の倒産に伴い、全体的に減少しま

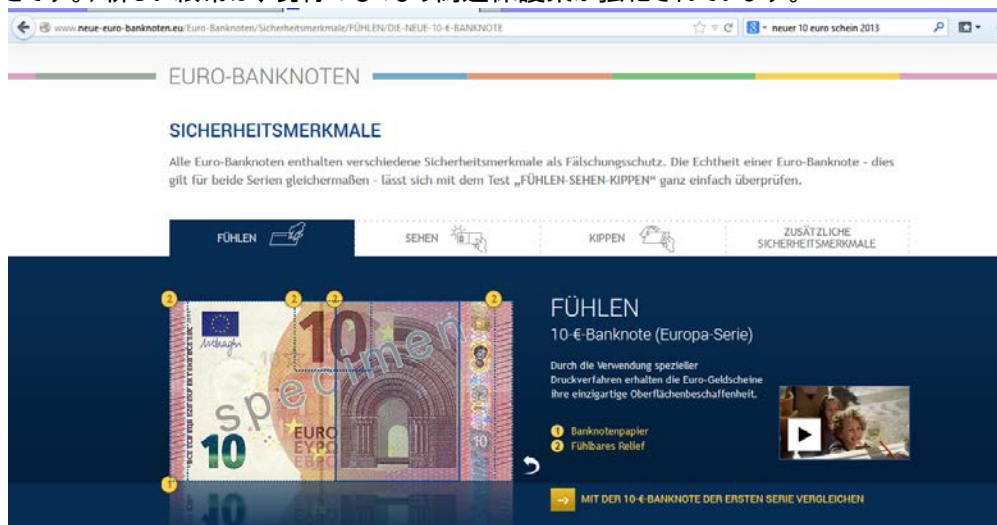


した。2014 年の見通しは様々ですが、2012 年度の水準に達成するのではないかと予想されています。

出典:2013 年 1 月 17 日付け Handelsblatt 詩

新 10 ユーロ札

ユーロ導入から 12 年が経ち、欧州中央銀行が新しい 10 ユーロ紙幣の発行を公表しました。参考品が 1 月 13 日に紹介されましたが、自動販売機などの調整を完璧に行うために、実際の導入は今年の秋になる計画です。(2013 年、5 ユーロ札の導入の際、自動販売機の使用に数多くの問題があったので、今回は準備を周到に進めるようにしたい、とのことです。)新しい紙幣は、現行のものより偽造保護策が強化されています。



出典:2014 年 1 月 13 日付け Handelsjournal 詩
スクリーンショットの出典:<http://www.neue-euro-banknoten.eu/Euro-Banknoten>

英国のリテール大手は健康維持・環境保護を重要に

通常、ドイツ人は健康管理・環境保護を重視するとの印象が強いですが、最新のメディア・レポートが証明するように、イギリスの大手も追いついています。例えば、

- 「Sainsbury's」は、店舗で使用される水を減らすことによって、もっと環境にやさしい営業が実現したことを背景に、2013 年には「2013 年度 Energy Award」を受賞することができました。
- 「Tesco」は、「Quality Foods Awards Retailer of the Year」(今年度の高品質食品小売業者賞)を受賞しました。その背景には「Healthy Living」(健康的な生活)と称される新しいブランドがあります。合計 230 製品をカバーするこのブランド商品は、砂糖、塩、油を少な目に使い、使用量も見やすく表現されています。

出典:2014 年 1 月 18 日付け www.tescopl.com、2014 年 1 月 6 日付けプレスリリース、
2013 年 12 月 4 月付け Sainsbury's プレスリリース、
<http://www.theenergyawards.com>





写真の出典: <http://www.tescopl.com/index.asp?pageid=17&newsid=919>

第3部:メッセ情報

EuroShop が間もなく開幕

国際店舗設備・販売促進機材展 EuroShop が 2 月 16 日からデュッセルドルフのメッセ会場で開催されます。2011 年の EuroShop は、出展企業の数 は 53 カ国から 2,038 社で、新記録をマークしましたが、今回はさらに参加企業数が増加して、展示館を一ホール増やすことになりました。日系企業が数多く参加します。下記にリストアップします。

会社名	ブース番号
株式会社ユナイテッドアローズ	05 B31
アットアロマ株式会社	05 D21
株式会社ダイカン	13 C02
株式会社インダ	06 F75
株式会社日本経済新聞社	EN COUNTER1
株式会社オン・オフインターナショナル	04 C01
株式会社パールマネキン	04 E62



サクラインターナショナル株式会社	05 B32
株式会社昭栄美術	05 K01
ワヨー株式会社	03 G93
ダイキン工業株式会社	15 A22
三協立山株式会社 タテヤマアドバンス社	13 D14
カシオ計算機株式会社	06 D61
シチズン・システムズ株式会社	06 B57
セイコーエプソン株式会社	06 F57
富士通株式会社	06 C75
パナソニック株式会社	07 C25
セイコーインスツル株式会社	06 H49
株式会社トッパン・コスモ	09 D77
東芝グローバルコマースソリューション・ホールディングス株式会社	06 A45
株式会社タジマ	10 H60
旭精工株式会社	06 C55

また、2月17日の午前11時から、メッセ・デュッセルドルフと日本経済社が共催する、第2回 EuroShop//JAPAN SHOP ショップデザイン・アワードセミナーを開催します。最優秀者と審査委員会の柏木委員長が(もちろん日本語で)アワードと受賞プロジェクトについて発表します。開催場所は会場北口付近のレセプションルームになります。詳細は、現地の



プログラムと <http://euroshop.messe-dus.co.jp> のサイトに掲載されています。ご参加をお待ちしています。

出典: www.euroshop.de/

【Euro リテール NEWS】2014年1号をお楽しみいただけましたでしょうか? ご意見やご希望をお聞かせいただけましたら幸いです。よろしければ、お知り合いやビジネスパートナーにも転送してください。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン
 【編集担当】A.メルケ【メッセ担当】A.メルケ
 mdj@messe-dus.co.jp

<http://euroshop.messe-dus.co.jp> / <http://www.messe-dus.co.jp/>



【ご意見・ご感想等】このEuro リテール NEWS は皆様の声を反映させ、より良い紙面を目指しております。読みたい、知りたいテーマがございましたらお知らせ下さい。また、ご質問やご意見も随時お受けしておりますので、お気軽にどうぞ!

